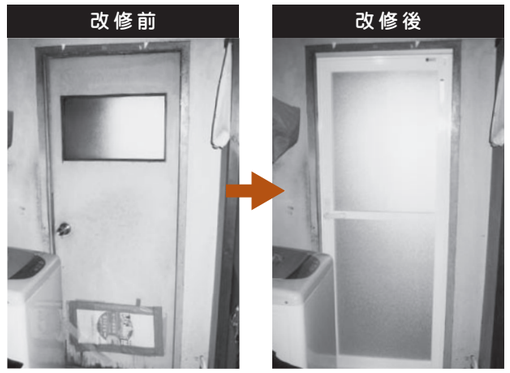
実現に向けて「かいた四季彩プロジェクト」

平成23年度から「第4次海田町総合計画」がスタートし、各種計画策定や実施設計などが行われてきました。それらを通じて、平成24年度は計画を実行する年になります。
ここでは、平成24年度予算で新たに取り組まれる事業や、さらに拡大・充実された事業のうち、主なものを紹介します。



ビフォー　アフター

新規・拡充事業

健康で人にやさしいまちづくり

拡充　予防接種事業　8,000万円

新たに、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成を行うとともに、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンなどの予防接種事業を継続します。

参加と連携によるまちづくり

新規　議場ネットワークカメラ新設事業　53万円

住民に町政への関心を高めてもらうため、役場庁舎ロビーにおいて、議会のテレビ中継を行います。

環境にやさしく、快適なまちづくり

新規　住宅リフォーム補助事業　800万円

快適な住まいづくりと、地域経済の活性化を図るため、住宅リフォームにかかる工事費用の一部を補助します。

新規　ごみ焼却施設解体事業　1億9,869万円

平成14年から休止状態となっている環境センターのごみ焼却施設の解体工事を行います。

子育てしやすいまちづくり

新規　畝保育所再整備事業

~~2億97万円~~ 減額修正 ▶▶▶ 1億7,787万円

老朽化した畝保育所の再整備を行います。
※この予算は、減額修正しました。詳しくは6ページに掲載。

新規　第2海田南児童クラブハウス整備事業　3,560万円

入所希望者が多く、十分な受入れができていない状況を改善するため、南小学校内に第2児童クラブハウスを整備します。

安全・安心で災害に強いまちづくり

新規　木造住宅耐震改修補助事業　200万円

地震や水害等の災害に強いまちづくりを推進するため、木造戸建住宅の耐震改修および減災対策にかかる工事費用の一部を補助します。

新規　小学校耐震補強事業　480万円

安全・安心な学校づくりのため、海田東小学校新館耐震補強工事の設計を行います。

のびのび（第1海田南児童クラブハウス）

施政方針とは、新しい年度の町の基本方針や政策などについての姿勢を示すものです。町長は議会において、施政方針の演説を行います。ここでは、その概要と施政方針演説に対する主な質問を紹介します。

町長 施政方針の概要

平成23年度からスタートした「第4次総合計画」は、事業の実施設計を中心に取り組んできた。平成24年度からは実施の年として、町民に見える形で「ひと輝く　四季彩のまち　かいた」の実現に向け推進していきたい。

予算編成においては事務事業費の精査を行うなど財源確保に努め、総合計画に掲げた施策推進に財源を重点的に配分した。

総合計画の施策の方向に沿った主な事業は、次のとおりである。

- ●休日保育の取り組み開始
- ●私立の乳児保育園開設
- ●南小学校に第2児童クラブハウス建設
- ●東小学校新館耐震補強設計の実施
- ●75歳以上の方に肺炎球菌ワクチンの接種費用助成
- ●住宅リフォーム費用の一部補助
- ●東公民館における住民票などの各種証明書交付（4月2日から）
- ●公共下水道整備を引き続き進め、人口普及率93.5%を目指す

早くできないかな

Q 広島市東部地区連続立体交差事業は、今後どのように対応するのか。

A 引き続き、県に対し、早期の完成を強力に要請していく。

Q 大企業の移転が予定されている。また、町内には企業撤退による空地も見受けられる。町として積極的に企業誘致などを進める気はあるか。

A 引き続き、県の窓口に相談やお願いをしながら、企業誘致や遊休地の活用などに向けて取り組んでいく。

Q 平成24年度は税収減を見込んでいるようだが、増加させるために新税の導入も含め、どのような努力をしていくのか。

A 税収入は町の歳入の要と認識している。企業誘致や徴収の努力により税収アップを図る。新税の導入については、本町に適応可能なものが何か、検討していく。

Q 水道事業の経営安定化に向けた取り組みは。

A 施設の老朽化により投資の増加が予測される。水道料金の値上げも含め検討する時期にきていると認識している。今後とも安全でおいしい水の供給に努めていく。

歯みがきにも最適です